

当院における 8 時採血開始に向けての取り組みとその成果と課題

◎渡邊 佳奈¹⁾、野中 綾子¹⁾、徳升 富美¹⁾、松田 千秋¹⁾、東 直希¹⁾、鍋田 弥生¹⁾
愛知県がんセンター¹⁾

【はじめに】当院はがん専門病院であり外来化学療法センター（以下、化療センター）の午後の待ち時間が 2,3 時間となることが病院全体の問題点であった。問題解消のため病院全体として 2022 年 12 月より採血開始時間を通常の 8 時 30 分から 30 分早めた 8 時採血を開始した。その取り組みについて報告する。

【8 時採血開始までの経緯】2022 年度に院内にて 8 時採血開始を目的としたワーキンググループ（WG）が発足した。WG は医師・外来看護部・検査部・受付クラーク・薬剤部・事務から構成された。人員確保や患者動線について検討を行った。

【対象患者と流れ】化療センターの 8 時採血枠と 9-10 時枠の診察予約がある患者とし、上限 30 名とした。予約の段階で、医師より専用の案内票を渡し、通常採血の患者と差別化を図ることとした。通常採血の患者とは別の流れで再診受付を行い、採血室にて採血受付後、通常とは異なるルートで採血室へ誘導し、採血を実施することとした。

【効果】化療センターでは、8 時採血開始前は突出して午

後の待ち時間が長い日があったが、導入後にそれは認めなくなった。また 8 時採血開始後は化療の実施のピークが早まり、ベッドの回転率が上がった。採血室では、採血待ち時間の短縮が見られた。通常採血開始 1 時間後の 9 時 30 分の時点で 8 時採血開始前の 2021 年度の平均待ち時間は 29 分であったが、2022 年度は 27 分、2023 年度は 25 分であった。採血待ち時間が短縮することにより、化療目的以外の患者にとってもメリットがあると考えられた。

【課題】臨床側の課題は医師の採血オーダー忘れと化療実施オーダーの遅延である。採血に関しては、トラブル発生時に採血業務が滞ることがある。さらに人員確保といかにルーチンに支障が出ないように出来るかが課題である。

【考察・まとめ】WG や化療センター看護師と 8 時採血に対する疑問点の確認や打ち合わせを重ねて業務を開始した。業務開始後も化療センター看護師とコミュニケーションを取り、問題点を解消しながら現在に至っている。今後も取り組みを継続していく予定である。

連絡先：052-762-6111（内線 3417）